

令和6（2024）年度

学生募集要項

学校推薦型選抜（共創学部）



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

目 次

| | |
|---|----|
| I 共創学部のアドミッション・ポリシー | 1 |
| II 共創学部学校推薦型選抜の流れ | 3 |
| III 共創学部（学校推薦型選抜）学生募集要項 | |
| 1. 出 願 資 格..... | 4 |
| 2. 募 集 人 員..... | 4 |
| 3. 出 願 手 続..... | 5 |
| 4. 提出が必要な出願書類等..... | 7 |
| 5. 希望者のみが提出する出願書類等..... | 8 |
| 6. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法..... | 8 |
| 7. 入学検定料の返還について..... | 10 |
| 8. 入学検定料の免除について..... | 10 |
| 9. 受験票の印刷について..... | 11 |
| 10. 入学者選抜方法..... | 11 |
| 11. 障害等のある入学志願者について..... | 13 |
| 12. 大学入学共通テスト成績請求票の提出..... | 14 |
| 13. 合 格 者 発 表..... | 14 |
| 14. 入 学 手 続..... | 15 |
| 15. 不正行為等の取扱い..... | 16 |
| 16. 試験成績の開示..... | 17 |
| 17. 個人用PC（ノート型）の必携について..... | 18 |
| 18. 個人情報の取扱い..... | 18 |
| 19. 修学場所について..... | 19 |
| IV 入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト | 20 |
| V 九州大学総合型選抜，学校推薦型選抜及び国際入試実施状況（令和5（2023）年度） | 21 |
| 添 付 書 類 | |
| 提出書類（推薦書，活動歴報告書，志望理由書） | |

I 共創学部のアドミッション・ポリシー

※注意

アドミッション・ポリシーとは、大学、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すものです。

1. 求める学生像

国立大学法人九州大学では、本学教育憲章の理念と目的を達成するために、高等学校等における基礎的教科・科目の普遍的履修を基盤とし、大学における総合的な教養教育や専門基礎教育を受け、自ら学ぶ姿勢を身に付け、さらに進んで自ら問いを立て、創造的・批判的に吟味・検討し、他者と協働し、幅広い視野で問題解決にあたる力を持つアクティブ・ラーナーへと成長する学生を求めている。

共創学部では次の資質や能力、態度をもった学生を国内外から積極的に受け入れる。

「主体的学習態度」：課題の検討や課題の将来的な解決に必要となる様々な学知や技能を主体的に探究し、身に付けようとする態度を持っている。

「協働への強い意欲」：背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている。

「批判的思考力」：既存の学知や自らの考えを常に批判的に検討し、その誤りを修正し、より良いものへと改善していこうとする思考態度を持っている。

「国際的視野」：世界の様々な人とともにより良い未来を築くことと、そのために必要となる語学力を磨くことに対する強い意欲を持っている。

2. 求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に国際社会で生じている出来事に対する強い関心と、世界を舞台に活動することに対する強い意欲、および、これらを実現するために必要となる語学力。

②思考力・判断力・表現力等の能力：物事を多角的・批判的に考え、自らの考えを自分の言葉で人に伝える資質。常に自らを省み、失敗や間違いを認め、そこから学ぼうとする意欲。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性、他者から進んで学ぼうとする態度。世界が直面している様々な課題の将来的な解決に向けて、背景や考え方の異なる様々な人々と進んで協働する姿勢。

3. 入学者選抜方法との関係

共創学部では「知識を問う入試から能力を見極める入試への転換」を掲げ、志願者の能力を複数の観点から見極めるために、次に挙げる4つの方針に基づいて入学者選抜を実施する。

(1) 4種類の選抜試験

共創学部が求める学生像の観点から、志願者の能力や態度等を見極めるために、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「国際型入試」の4種類の選抜試験を実施する。また、それぞれの

入試類型の中でも複数の観点を組み合わせ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する。

(2) 文理共通問題

一学部一学科の学部として、文理共通の試験問題を課す（留学生に対する試験を除く）。理系クラスで学んできた志願者も、文系クラスで学んできた志願者もどちらも解答可能な問題を用意し、いづれかが不利になることのないよう配慮する。

(3) 志望理由書

すべての入試類型で「志望理由書」の提出を求め、学部への理解や適性などを確認する。

(4) 障害等のある者に対する合理的配慮

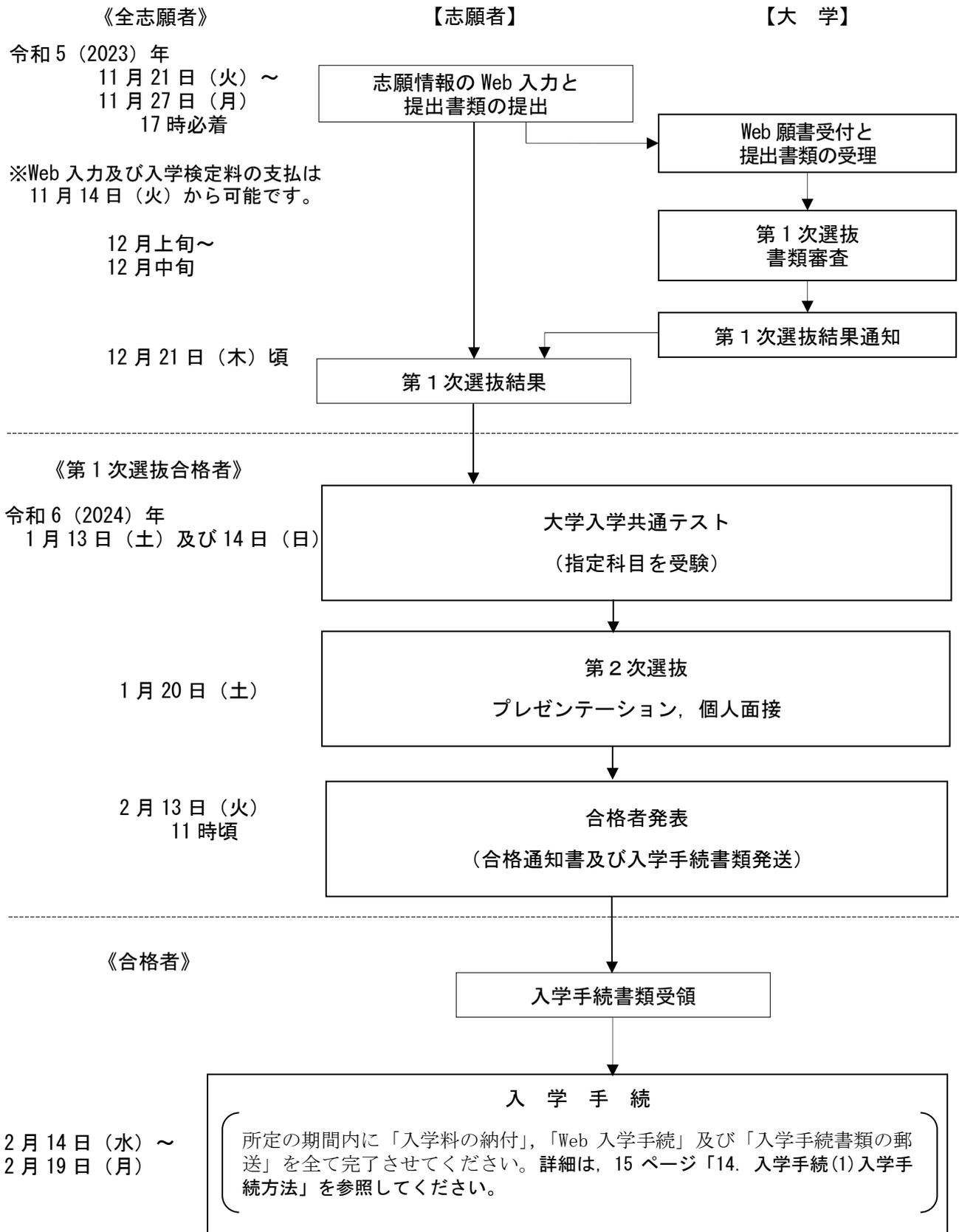
共創学部の受験にあたり、受験上の配慮や支援を必要とする場合、入学後に配慮や支援を必要とする場合の事前相談を受け付け、合理的配慮を検討する。

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

| | ①知識・技能 | ②思考力・判断力・表現力等の能力 | ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|---------|-----------------------------------|---|--|
| 総合型選抜 | 調査書 活動歴報告書 講義レポート 小論文 | 志望理由書 講義レポート 小論文 集団討論 個人面接 | 調査書 志望理由書 活動歴報告書 集団討論 個人面接 |
| 学校推薦型選抜 | 推薦書 調査書 活動歴報告書 大学入学共通テスト | 推薦書 志望理由書 活動歴報告書 プレゼンテーション 個人面接 | 推薦書 調査書 志望理由書 プレゼンテーション 個人面接 |
| 一般選抜 | 調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査 | 志望理由書 個別学力検査 小論文 | 調査書 志望理由書 小論文 |
| 国際型入試 | 個別学力検査または 日本留学試験等 | 個別学力検査または 日本留学試験等 志望理由書 個人面接 | 志望理由書 個人面接 |

Ⅱ 共創学部学校推薦型選抜の流れ



Ⅲ 共創学部（学校推薦型選抜）学生募集要項

本学部への入学を希望する者は、Ⅰのアドミッション・ポリシーをよく読み、本学部の理念と教育内容をしっかりと理解した上で応募していただくことが望まれます。

1. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5（2023）年4月から令和6（2024）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5（2023）年4月から令和6（2024）年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和5（2023）年4月から令和6（2024）年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 共創学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 共創学部が指定する令和6（2024）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試第一係（TEL092-802-2004）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 指定する令和6（2024）年度大学入学共通テストの教科・科目は、国語、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、外国語（英語（リスニングを含む。））です。
- (2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。
- (3) 共創学部学校推薦型選抜に出願する場合でも、本学部の総合型選抜、一般選抜、国際型入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。
- (4) 九州大学の他学部で実施される総合型選抜（文学部、教育学部、法学部、経済学部経済・経営学科、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、工学部（航空宇宙工学科を除く）、芸術工学部各コース、農学部）、学校推薦型選抜（歯学部、芸術工学部）、及び国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (5) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。
- (6) 本学部の学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。
- (7) 本学部の総合型選抜最終合格者となった場合、学校推薦型選抜に出願することはできません。

2. 募集人員

10人（入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

3. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

- ① インターネットにより、**志望情報等を入力**する。
 - ② **出願写真をアップロード**する。
 - ③ **入学検定料を支払う**。
 - ④ 推薦書，調査書，活動歴報告書，志望理由書等の**提出が必要な出願書類等を郵送**する。
- ①～④の
すべての手続を行います。

〈 注 意 〉

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、**書留・速達郵便（日本国外から出願する場合は、EMS等の最速の国際郵便）**で郵送する必要があります。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、九州大学学務部入試課入試第一係（TEL：092-802-2004）へ相談してください。

(2) 出願期間等

| 事 項 | 期 間 |
|--|---|
| Web 入力及び入学検定料の支払 (注1) | 令和5(2023)年11月14日(火)から 11月27日(月)17時まで |
| 【出願受付期間】 「提出が必要な出願書類等」の郵送 (注2)(注3)(注4) | 令和5(2023)年11月21日(火)から 11月27日(月)17時まで(必着) |

注意事項

- (注1) 「Web 入力及び入学検定料の支払」期間内に入力及び支払手続を行ってください。なお、出願登録完了後は、ご自身で入力事項の変更はできません。
- (注2) 「提出が必要な出願書類等」の郵送は郵便事情を考慮し、期間内に必ず到着するように手続してください。
- (注3) 「提出が必要な出願書類等」の提出方法は原則郵送となります。
ただし、出願期間最終日の11月27日(月)のみ、9時から17時まで、九州大学学務部入試課への持参が可能です。
- (注4) 「提出が必要な出願書類等」の受領確認は日本郵便の郵便追跡サービスサイトでご確認ください。郵便追跡サービスサイトでは書類の郵送時に郵便局から交付された「受領証」にあるお問い合わせ番号(引受番号)を利用して確認することができます。
- (注5) 出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」は、入学手続時にも使用しますので、出願登録完了後もメモを保管してください。

(3) Web 入力の方法

必要な情報について、インターネットを利用して入力します。

インターネット出願のページへは、九州大学 Web サイトからアクセスできます。

アクセスページ

九州大学 Web サイト

トップページ > 入試・入学 > 学部入試 > インターネット出願

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/internet/>



出願登録方法は、以下のサイトにて説明しておりますので、出願前にご確認ください。

九州大学 インターネット出願ガイダンスサイト

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyushu-u/how/>



○インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問い合わせてください。

| | | |
|--------------|--|------------------|
| 志願受付操作サポート窓口 | 受付期間 11月14日(火)～11月27日(月) 9時から20時まで | TEL 0120-752-257 |
|--------------|--|------------------|

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000円

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「入学検定料のお支払い」ページにより確認してください。

入学検定料の他に別途必要なサービス利用料は、志願者負担となります。

① クレジットカード 日本国内/国外で利用可能

出願登録完了後、入学検定料のお支払サイトにより、決済を完了させてください。右のクレジットカードで支払うことができます。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。支払方法は一括払いのみです。

クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

| |
|------------------|
| 名称 |
| VISA |
| MasterCard |
| JCB |
| AMERICAN EXPRESS |
| Diners Club Card |

② コンビニエンスストア 日本国内のみ利用可能

現金での支払となります。

| | |
|--------------|---|
| ローソン, ミニストップ | 「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払 |
| ファミリーマート | 「マルチコピー機 (旧 Fami ポート端末)」で手続後、レジにて現金で支払 |
| デイリーヤマザキ | 店頭レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払 |
| セイコーマート | 店頭レジにて現金で支払 |
| セブン-イレブン | レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払 (※) (※) マルチコピー機は使用しません |

※ 最新情報は、インターネット出願 Web サイトで確認してください。

③ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。



④ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続きしてください。

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の発生により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試第一係にお問い合わせください。

ウ. 活動歴報告書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆で作成したものを提出してください。

なお、活動の成果物、表彰、資格、検定などに関する資料を添付する際は、「添付資料に関する注意事項」に記載の注意事項をよく読み、その指示に従ってください。

エ. 志望理由書

本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、これまでの経験や将来展望等を踏まえ、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で記入したものを提出してください

* 上記の提出が必要な出願書類等のうち、推薦書、活動歴報告書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

* 必ず**令和 6 (2024) 年度**の様式を使用してください。

* ウ. 活動歴報告書及びエ. 志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。**志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。**

* ウ. 活動歴報告書及びエ. 志望理由書は「片面印刷」にて出力してください。

* 提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 希望者のみが提出する出願書類等

大学入学共通テストの「英語」については、英語能力試験の成績の提出を認め、提出された成績を下の「みなし基準表」にしたがって換算し、大学入学共通テスト「英語」の得点として利用します。これは、希望者に対してのみ実施されるものです。

利用できる英語能力試験は次の7つです。

- ① 実用英語技能検定（英検）
- ② TOEFL iBT
- ③ IELTS（アカデミック・モジュール）
- ④ GTEC ※OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る
- ⑤ TEAP（4 技能）
- ⑥ ケンブリッジ英語検定
- ⑦ TEAP CBT

英語能力試験の利用を希望する者は、成績表（原本）一つを出願時に提出する必要があります。提出された成績に対して、下の「みなし基準」に従って、「みなし得点」が与えられます。提出できる英語能力試験の成績は、換算対象となる大学入学共通テストの実施日からさかのぼって過去2年以内に受験したものとします。また、大学入学共通テスト「英語」を受験することを必須とします。

【みなし基準表】

| みなし得点 | *下記の英語能力試験でそれぞれの基準点以上の場合、右の数値を大学入学共通テスト「英語」の得点とみなします。 | 200 点 |
|--------|---|-------|
| みなし基準点 | 英検（CSEスコア） | 2300 |
| | TOEFL iBT | 72 |
| | IELTS（アカデミック・モジュール） | 5.5 |
| | GTEC | 1190 |
| | TEAP（4 技能） | 309 |
| | ケンブリッジ英語検定 | 160 |
| | TEAP CBT | 600 |

なお、英語能力試験の成績表（原本）は、九州大学学務部入試課で確認後返却しますので、返送先の住所・氏名を記入し、簡易書留郵便の郵送にかかる金額分の切手を貼った返信用封筒を同封の上、提出してください。

6. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

①提出封筒の準備

志願する日程（「学校推薦型選抜（共創学部）」）の封筒及び必要書類を用意し、提出してください。

日本国内から出願する場合

(ア) **必ず、角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A 4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。（マチ付き封筒も可）**

長形 3 号封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



長形 3 号封筒

角形 2 号封筒

(イ) 出願登録完了画面から (図 1) の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、(ア)の封筒の表（宛名）面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷することができない場合は、(図 2) の【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本を直接、封筒の表（宛名）面に記載してください。

書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入（又は郵便局窓口で押印を依頼）してください。

(図 1) 【封筒貼付用宛名ラベル】の印刷見本

(図 2) 【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本

速達

切手

〒819-0395
福岡市西区元岡 744

九州大学学務部入試課
入試第一係 御中

書留・速達

出願番号 : * * * * *
入試制度 : 学校推薦型選抜
出願学部・学科等 : 共創学部

〒〇〇〇-〇〇
△△県□□市◇◇町 1-2-3

☆☆☆☆

速達

切手

〒819-0395
福岡市西区元岡 744

九州大学学務部入試課
入試第一係 御中

書留・速達

出願番号 : * * * * *
入試制度 : 学校推薦型選抜
出願学部・学科等 : 共創学部

志願者情報 : 〒〇〇〇-〇〇〇〇
△△県□□市◇◇町 1-2-3

☆☆☆☆

② 提出が必要な出願書類等の封入

7 ページ記載の **4. 提出が必要な出願書類等**を、種類毎にクリップ留めのうえ（ホチキスやクリアファイル等は使用不可）封入してください。

③ 速達・書留（又は EMS）で送付

5 ページ記載の **3. (2) 出願期間等**の出願受付期間内に必ず到着するよう、**書留・速達**郵便で郵送してください。

日本国外からの出願の場合は、EMS (Express Mail Service) 等の最速の国際郵便で郵送してください。

※出願に関する注意事項

ア. 提出が必要な出願書類等に不備があるものは受理しません。

志願情報、出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

イ. 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の情報の変更は認めません。

ウ. 不明な点は、出願前に九州大学学務部入試課へ相談してください。

照会先：九州大学学務部入試課入試第一係

TEL：092-802-2004

7. 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ① 11 ページの「10. 入学者選抜方法」による第1次選抜（書類審査）を実施した結果、その不合格者に対して、13,000 円を返還します。
- ② 入学検定料納付後、提出が必要な出願書類等を送付しなかった場合及び出願書類等を受理できなかった場合は、全額返還します。該当する場合は、九州大学学務部入試課入試第一係（TEL：092-802-2004）へお問い合わせください。
- ③ ①に該当する場合は、第1次選抜結果通知の際に「返還請求書」等を送付しますので、書類作成の上、令和6（2024）年3月29日（金）までに手続きを行ってください。

8. 入学検定料の免除について

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

ア 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号及び令和2年7月豪雨に被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

㊦ 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失等した場合

㊧ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

イ 東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ九州大学学務部入試課入試第一係へ E-Mail または電話で連絡し、該当すると判断された者は、「入学検定料免除申請書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption>) からダウンロードのうえ、次のうちいずれかの証明書等を添えて「提出が必要な出願書類等」とともに提出してください。

なお、申請にあたっては、以下の証明書が必要になります。

- ・ ①ア㊦に該当する場合 被災証明書
- ・ ①ア㊧に該当する場合 死亡又は行方不明を証明する書類
- ・ ①イに該当する場合 被災証明書

9. 受験票の印刷について

- ① 学校推薦型選抜受験票は、令和6（2024）年1月5日（金）頃インターネット出願の出願内容確認画面より印刷可能となります。受験票の印刷はパソコンから行うことを推奨します。

九州大学 出願内容確認画面

<https://exam-entry.52school.com/kyushu-u/mypage>



- ② 試験当日（令和6（2024）年1月20日（土））は、**本学の学校推薦型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票の両方を必ず持参してください。**
- ③ 本学の学校推薦型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票は、入学手続及び試験成績の開示等の際に必要となるので必ず保管しておいてください。
- ④ その他の注意点や試験会場の詳細については、本学 Web サイトに掲載しますので、事前に各自で必ず確認してください。なお、試験当日に監督者から注意事項の変更や追加の指示があった場合は、その指示に従ってください。

九州大学 Web サイト

トップページ > NEWS > 入試情報 > お知らせ

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=1>



10. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

- ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。
- イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度を上限とします。
- ウ. 第1次選抜の結果については、令和5（2023）年12月21日（木）頃に通知書を郵便で発送します。
- エ. 第1次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（共創学部）をインターネット出願画面よりダウンロードし、第2次選抜試験時に持参してください。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、プレゼンテーション及び面接（1人約30分）を課し、大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。なお、プレゼンテーション及び面接は対面で行います。

プレゼンテーションは、第1次選抜で提出した活動歴報告書と志望理由書に沿って、「これまでの学び」と「これからの学び」について5分程度で述べてください。A4サイズ1ページでプレゼンテーションの概要を示した資料（パソコン等での作成可）を試験当日に面接官への配付用に5部提出してください。発表で使用可能な言語は日本語または英語とします。言語選択による有利不利（加点や減点）はありません。

プレゼンテーションの後、25分程度の面接を主に日本語で行います。なお、高等学校等での活動

歴として、海外留学や語学学習等がある場合には、それらの活動に関連する英語等の外国語により質疑応答を行う場合があります。面接では、プレゼンテーションおよび第1次選抜で提出した書類についての質疑応答を行います。試験当日にこれらの書類のコピーを参照用に1部お手元にご用意ください。(メモ等の書き込みは不可。面接官への配付用コピーの用意は必要ありません。)

なお、指定した英語能力試験(注)の成績(原本)を提出した者については、所定の基準にしたがって、大学入学共通テストの英語の点数に換算します。

(注) 英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。

実用英語技能検定試験(英検)、TOEFL iBT、IELTS(アカデミック・モジュール)、GTEC(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)、TEAP(4技能)、ケンブリッジ英語検定、TEAP CBT

【実施日時及び場所】

集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は学校推薦型選抜受験票(共創学部)、大学入学共通テスト受験票、第1次選抜合格通知書、筆記用具(黒鉛筆、シャープペンシル)及び上記10.(2)に記載の資料を持参の上、指定された時刻・場所に集合してください。

なお、試験室内に持ち込みができるのは、「プレゼンテーションの概要を示した資料(A4判の紙(片面のみ使用可)1枚)」と「第1次選抜で提出した書類のコピー」のみです。いずれもメモ等の書き込みや付箋の貼り付け等は不可とします。

| 月日 | 時間 | 場所 |
|----------|---------------------------------|------------------------|
| 1月20日(土) | プレゼンテーション及び面接 9:00~17:30(予定) | 九州大学伊都キャンパス センター1号館 |

※各受験者の集合時刻等は第1次選抜合格通知の際に指定します。

(注意)

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた集合時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者(又は係員)にその旨申し出てください。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜では、調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書及び志望理由書を300点満点で評価し、各評価と提出された推薦書を合わせて3段階(ABC)で総合評価します。

イ. 第2次選抜では、令和6(2024)年度大学入学共通テストの成績を150点満点で、プレゼンテーション及び面接(個人面接)を100点満点で評価し、第1次選抜の評価と合わせて3段階(ABC)で総合評価します。

- ・ 大学入学共通テストの配点

| 国語 | 数学 | 外国語 | 合計 |
|-----|-----|-----|------|
| 50点 | 50点 | 50点 | 150点 |

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点を50点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

11. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害（下表）等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。

ただし、受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、相談の内容に応じて、次の期日までに相談してください。なお、期日を過ぎてから相談が必要となった場合は、九州大学学務部入試課（092-802-2004）へ連絡してください。

① 「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合

令和5（2023）年10月13日（金）まで

② 上記①以外の配慮（面接、プレゼンテーション時の配慮等を含む）を希望する場合

令和5（2023）年10月27日（金）まで

※ 上記期日までに相談の無い場合や相談の内容によっては配慮が講じられない場合がありますので十分注意してください。

| 区分 | 対象となる者 | 筆記試験における受験上の配慮の一例 |
|---------------|--|---|
| ① 視覚に関する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両目の矯正視力がおおむね0.3未満、もしくは視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外の視覚障害者 | <ul style="list-style-type: none"> 点字解答 拡大文字問題冊子の配付 拡大鏡等の持参使用 窓側の明るい座席を指定 照明器具の持参使用又は試験室側での準備 |
| ② 聴覚に関する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚障害者 | <ul style="list-style-type: none"> 手話通訳士等の配置 注意事項等の文書による伝達 座席を前列に指定 補聴器又は人工内耳の装用 |
| ③ 肢体不自由に関する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外の肢体不自由者 | <ul style="list-style-type: none"> 代筆解答 介助者の配置 試験室を1階に設定 トイレに近い試験室で受験 車椅子、杖の持参使用 試験場への乗用車での入構 |
| ④ 病弱に関する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 | <ul style="list-style-type: none"> 試験室を1階に設定 杖の持参使用 別室の設定 |
| ⑤ 発達障害に関する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者 | <ul style="list-style-type: none"> 試験時間の延長（1.3倍） 拡大文字問題冊子の配付 注意事項等の文書による伝達 |
| ⑥ その他 | <ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮（面接、プレゼンテーション時の発話に関する配慮等を含む）を必要とする者 | <ul style="list-style-type: none"> トイレに近い試験室で受験 座席を試験室の出入口に近いところに指定 等 |

ア. 相談の方法

「九州大学入学試験における事前相談申請書」及び「診断書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/disabilities/>) からダウンロードのうえ、障害者手帳取得者は、その写しも添えて相談の申請をしてください。

診断書には、診断名、初診日付と最終診察日、具体的な症状とその経過、日常生活上特に修学上の支障の程度、試験の際に想定される問題と必要と考える支援について記載してください。

また、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、独立行政法人大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。

イ. 連絡先

九州大学学務部入試課入試第一係

TEL : 092-802-2004

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

1 2. 大学入学共通テスト成績請求票の提出

第1次選抜の合格者には、本学から第1次選抜結果を通知する際、大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙及び返送用封筒を送付しますので、次の方法により手続を行ってください。

なお、この成績請求票を期日までに提出しない場合は、第1次選抜の合格者としての権利を失います。

また、期限までに提出できない者は、九州大学学務部入試課入試第一係へ連絡してください。

ア. 大学入学共通テスト試験成績請求票貼付用台紙の所定欄には、独立行政法人大学入試センターから交付を受けた有効な「**推薦**令和6共通テスト成績請求票国公立推薦型選抜用」を貼ってください。

イ. 返送用封筒には、上記ア. の台紙を同封し、所定の切手を貼り令和6(2024)年1月12日(金)までに九州大学学務部入試課入試第一係へ提出してください。

1 3. 合格者発表

合格者については、**令和6(2024)年2月13日(火)11時頃**、受験番号を伊都キャンパスセンターゾーンビッグさんど前広場の掲示板に掲示するとともに、同日に合格通知書を出願時に入力された住所あてに郵便で発送します。

また、合格者の受験番号を同日12時頃九州大学合格者発表専用Webサイト (<https://goukaku.jim-u.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載します。これは、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者の発表は、前述のとおりです。



電話による合否の問い合わせには応じません。

この共創学部の学校推薦型選抜では、本学の共創学部で学ぶために必要・不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

【注意】合格発表後、SNS等で自身の合格を公開する行為にはリスクが伴う場合があります。勧誘などで悪用される可能性があるため、充分にご注意ください。

14. 入学手続

入学手続に関する書類は、**令和6(2024)年2月13日(火)**、合格通知書とともに合格者に対して発送します。

入学手続は、次のとおり行ってください。

(1) 入学手続方法

所定の期間内 (**令和6(2024)年2月14日(水)13時から2月19日(月)17時まで**) に「①入学料の納付」、「②Web 入学手続」及び「③入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。詳細については、合格者に対して発送する入学手続に関する書類でご確認ください。なお、「③入学手続書類の郵送」については、遅延等の郵便事情を考慮の上、**令和6(2024)年2月14日(水)13時から2月19日(月)17時まで**に**必着**するように「**書留速達郵便**」により郵送してください。

※入学手続は、令和6(2024)年2月19日(月)17時をもって締切ります。

(2) 留意事項

- ① 学校推薦型選抜の合格者が本学に入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。
- ② 学校推薦型選抜の合格者が、極めて特殊な事情により入学を辞退しようとするときは、令和6(2024)年2月19日(月)17時まで、当該出願者の推薦を行った出身学校長から本学総長宛その理由を付した「推薦入学辞退願（様式任意）」を提出してください。指定の日時までに入學辞退の手続を行わない場合または入学辞退が許可されなかった場合は、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。

（手続及び連絡先：九州大学学務部入試課入試第一係 TEL：092-802-2004）

※公立大学協会 Web サイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 授業料は、入学後に納付することになります。
- ⑤ Web 入学手続ログイン時に、出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」の入力が必要です。

[参考]

① 入学料及び授業料について

入学料 282,000 円（予定）[入学手続時に納付]

授業料（前期分）267,900 円 [年額 535,800 円]（予定）[入学後に納付]

（注）上記の納入金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな入学料及び授業料が適用されます。

② 入学料免除・入学料徴収猶予について

経済的事情により入学料免除・入学料徴収猶予を希望する者は、入学手続の際に入学料を納付せず、以下及び入学手続の際に送付する書類を参照して申請してください。この申請を行った上で、入学後に本学が定める期限までに必要な手続きを行った場合は、選考結果が通知されるまで入学料の徴収は猶予されます。

● 入学料・授業料免除等の経済的支援を希望する者は、国の「高等教育の修学支援制度」を利用してください。この制度は、住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯の学生を対象に、日本学生支援機構の給付奨学金に加えて、給付奨学金の支援区分に応じて入学料・授業料が減免される制度です。申請資格については、日本学生支援機構の「給付奨学金」のホームページで確認してください。申請方法は、給付奨学金の申請（高校在学時に申請していない場合は入学直後に本学に申請）を行うとともに、入学手続の際に、本学に事前申請を行ってください。なお、入学後にも必要な手続があります。

● 高等教育の修学支援制度の申請資格に該当せず、次に該当する者は、本学独自の入学料免除制度に申請することができます。

「入学前1年以内において、入学者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難と認められる者」

● 入学料徴収猶予は、入学手続時の入学料納付が困難である場合、申請書類による選考の上、入学料の徴収を9月末まで猶予する制度です。なお、この制度では入学料の減免は行いません。

15. 不正行為等の取扱い

① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した学校推薦型選抜の成績を無効にします。この場合、既納の入学検定料は返還しません。

ア. インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、照合票に虚偽の内容があった場合や活動歴報告書及び志願理由書へ故意に虚偽の記入をすること。

イ. 志願者本人が作成する書類について、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）が作成したもの、または剽窃等を行ったものを提出すること。

ウ. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人からアドバイスを受けることなど。）をすること。

エ. 他の受験者に面接の内容を教えたりカンニングの手助けをすること。

オ. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（13 ページ）が必要です。）

カ. その他、募集要項や受験案内（第1次選抜合格者へ郵送）の記載事項や試験時の説明で禁止された行為をすること。

② 不正行為が合格後に判明した場合、合格を取り消します。この場合、入学検定料、入学料及び納入済みの授業料等は返還しません。

なお、当該不正行為が本学の入学者選抜の実施運営を著しく妨げたと判断した場合、警察に被害届を提出する場合があります。

③ 上記①以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①及び②と同様です。

ア. 試験時間中に、使用を認められてない携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。

イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申し出をすること。

エ. 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。

オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

16. 試験成績の開示

令和6（2024）年度学校推薦型選抜の試験成績について、受験者本人からの請求に限り、「第1次選抜」及び「第2次選抜」の成績（ABC評価）を郵送により開示します。

① 申請に必要なもの

(1) 令和6（2024）年度九州大学学校推薦型選抜成績開示申請書

※申請書は、令和6（2024）年4月下旬頃より、本学Webサイト
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

(2) 令和6（2024）年度九州大学学校推薦型選抜の受験票

※学校推薦型選抜の受験票がない場合は、問い合わせください。

(3) 書留料金の切手（529円（予定））を貼った返信用封筒（長形3号）

※個人成績を記した書類を郵送するためのものです。必ず受験した本人宛にしてください。

② 申請に際しての注意事項

(1) 申請は本学学務部入試課へ郵送又は本学学務部入試課窓口での申請も可能です。

申請窓口：九州大学学務部入試課

〒819-0395 福岡市西区元岡744

(2) 申請受付期間は、土・日・祝日を除く令和6（2024）年5月8日（水）～5月31日（金）です。本学窓口での申請の受付は、9時から17時までです。

(3) 申請は、必ず本人が行ってください。代理人への開示は行いません。

(4) 郵送による申請の場合、封筒の表には「学校推薦型選抜成績開示申請」と朱書きしてください。

- (5) 学校推薦型選抜試験成績の開示は、申請受付後、3週間以内に送付します。
窓口での申請の場合は、後日開示となります。

17. 個人用PC（ノート型）の必携について

大学では、授業中にPCを使用するのはもちろん、自宅やその他の場所でPCを利用することになります。例えば、学習を進める上で必要な授業内容を記したシラバスや授業の教材、レポート課題・提出期限などの情報、また履修登録や成績の確認など、様々な情報がネットワークを經由して提供されるばかりでなく、レポート提出をPCから行う授業も多くあります。

そのため、本学では、個人用PC（ノート型）が必携となっています。本学に入学の際は、PCを準備・購入していただくこととなりますので、あらかじめお知らせします。

詳細については、今後、本学Webサイトにてお知らせするとともに、合格者向け入学手続案内の「入学ガイドブック」に記載します。学部・学科によってPCの推奨スペック（必要な性能）が異なりますので、各学部・学科の該当する項を必ずご確認ください。

本学の学生には「Microsoft 365」（Word, Excel, PowerPoint等）を在学中に限り大学が無償で提供しますので、これらを個別に購入、あるいは、PCとセットで購入する必要はありません。また、セキュリティ対策ソフトウェアが別途必要な方は大学から無償で入手できます。なお、これらのソフトウェアが予め入っていても支障はありません。おって、授業で円滑に学べるように、PCの環境を整えるためのPC設定作業についての案内をいたします。

問い合わせ先

【個人用PCのスペックに関すること】

学務部学務企画課教務・学務情報係

TEL：092-802-5939 E-mail：gapjoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【Microsoft 365に関すること】

情報統括本部 情報共有基盤事業室

TEL：092-802-2692 E-mail：ms365@iii.kyushu-u.ac.jp

【セキュリティ対策ソフトウェアに関すること】

情報統括本部 ソフトウェア事業室

E-mail：a-virus@iii.kyushu-u.ac.jp

18. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「九州大学個人情報管理規程」等学内の関係規定に基づいて取り扱います。

1. 出願時に取得した氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。

2. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析，事業企画等）のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報及び試験成績の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名，受験番号，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は，入学者のみ①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除・奨学金申請等），③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

※本学のプライバシーポリシーについては以下の URL を参照ください。（英語のみ）

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

19. 修学場所について

学部授業の主たる修学場所について下記のとおりお知らせします。共創学部は伊都キャンパスが主たる修学場所です。

学部授業の主たる修学場所

令和5（2023）年7月現在

| 学部（学科） | 実施時期 | 1年次 （令和6（2024）年度） | 2年次 （令和7（2025）年度） | 3年次以降 （令和8（2026）年度～） |
|----------------------------------|------|----------------------|----------------------|-------------------------|
| 共創・文・教・法・経・理・ 工（融合基礎工学科を除く）・農 | | 伊都キャンパス | | |
| 工（融合基礎工学科） | | 伊都キャンパス | | 筑紫キャンパス |
| 医・歯・薬 | | 伊都キャンパス | 病院キャンパス | |
| 芸工 | | 伊都キャンパス | 大橋キャンパス | |

IV 入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト

九州大学では、受験生に本学の学部・学科の内容や入学者選抜方法をよく知っていただくために、アドミッションセンターを中心にして、次のような入学案内や入学相談を行います。

○ 電話による入学案内・入学相談

随時行います。九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

問い合わせ先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

住 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744 センター 1 号館 1 階

T E L：092-802-2006, 2007

F A X：092-802-2008

E-mail：nyukikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

○ Web サイト

- ・九州大学 Web サイト <https://www.kyushu-u.ac.jp/>
- ・共創学部 Web サイト <https://kyoso.kyushu-u.ac.jp/>

令和5年度 九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況

| | 学部・学科等 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 ※1 | 合格者 | | | | | 志願者 女子数 | 合格者 女子数 | 合格者 男子比 ※3 | 合格者 女子比 ※3 | 入学者 |
|-------------|--------------------|------|-----|-----------|------|-------|----|-----|-----|------------|------------|------------------|------------------|-----|
| | | | | | 人数 | 倍率 ※2 | 県内 | 県外 | その他 | | | | | |
| 総合型選抜 | 共創学部 | 20 | 121 | 58 | 20 | 6.05 | 5 | 15 | 0 | 82 | 15 | 25.0 | 75.0 | 20 |
| | 文学部 | 10 | 9 | 9 | 7 | 1.29 | 4 | 3 | 0 | 7 | 5 | 28.6 | 71.4 | 7 |
| | 教育学部 | 7 | 33 | 14 | 8 | 4.13 | 3 | 5 | 0 | 26 | 7 | 12.5 | 87.5 | 8 |
| | 法学部 | 10 | 15 | 13 | 8 | 1.88 | 4 | 4 | 0 | 12 | 8 | 0.0 | 100.0 | 8 |
| | 経済学部 | 22 | 27 | 16 | 3 | 9.00 | 3 | 0 | 0 | 11 | 1 | 66.7 | 33.3 | 3 |
| | 理学部 | 34 | 86 | 82 | 30 | 2.87 | 14 | 16 | 0 | 27 | 11 | 63.3 | 36.7 | 30 |
| | 物理学科 | 7 | 13 | 13 | 6 | 2.17 | 2 | 4 | 0 | 3 | 3 | 50.0 | 50.0 | 6 |
| | 化学科 | 8 | 24 | 22 | 7 | 3.43 | 4 | 3 | 0 | 10 | 3 | 57.1 | 42.9 | 7 |
| | 地球惑星科学科 | 7 | 9 | 9 | 5 | 1.80 | 3 | 2 | 0 | 2 | 1 | 80.0 | 20.0 | 5 |
| | 数学科 | 7 | 25 | 23 | 7 | 3.57 | 5 | 2 | 0 | 5 | 3 | 57.1 | 42.9 | 7 |
| | 生物学科 | 5 | 15 | 15 | 5 | 3.00 | 0 | 5 | 0 | 7 | 1 | 80.0 | 20.0 | 5 |
| | 医学部・保健学科 | 22 | 80 | 65 | 22 | 3.64 | 11 | 11 | 0 | 69 | 20 | 9.1 | 90.9 | 22 |
| | 看護学専攻 | 10 | 42 | 30 | 10 | 4.20 | 5 | 5 | 0 | 41 | 10 | 0.0 | 100.0 | 10 |
| | 放射線技術科学専攻 | 6 | 21 | 19 | 6 | 3.50 | 3 | 3 | 0 | 11 | 4 | 33.3 | 66.7 | 6 |
| | 検査技術科学専攻 | 6 | 17 | 16 | 6 | 2.83 | 3 | 3 | 0 | 17 | 6 | 0.0 | 100.0 | 6 |
| | 歯学部 | 8 | 18 | 18 | 5 | 3.60 | 1 | 4 | 0 | 8 | 3 | 40.0 | 60.0 | 5 |
| | 工学部 | 47 | 104 | 74 | 32 | 3.25 | 16 | 16 | 0 | 31 | 12 | 62.5 | 37.5 | 32 |
| | 電気情報工学科 | 8 | 6 | 5 | 5 | 1.20 | 4 | 1 | 0 | 1 | 1 | 80.0 | 20.0 | 5 |
| | 材料工学科 | 3 | 12 | 8 | 3 | 4.00 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 100.0 | 0.0 | 3 |
| | 応用化学科 | 4 | 10 | 10 | 4 | 2.50 | 3 | 1 | 0 | 4 | 1 | 75.0 | 25.0 | 4 |
| | 化学工学科 | 2 | 1 | 1 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |
| | 融合基礎工学科 物質材料コース | 2 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |
| | 融合基礎工学科 機械電気コース | 2 | 2 | 1 | 1 | 2.00 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100.0 | 0.0 | 1 |
| | 機械工学科 | 7 | 22 | 12 | 2 | 11.00 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 100.0 | 0.0 | 2 |
| | 量子物理工学科 | 2 | 1 | 1 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 |
| | 船舶海洋工学科 | 5 | 8 | 8 | 5 | 1.60 | 2 | 3 | 0 | 3 | 3 | 40.0 | 60.0 | 5 |
| | 地球資源システム工学科 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.00 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 50.0 | 50.0 | 2 |
| | 土木工学科 | 4 | 15 | 9 | 4 | 3.75 | 1 | 3 | 0 | 4 | 1 | 75.0 | 25.0 | 4 |
| | 建築学科 | 6 | 25 | 17 | 6 | 4.17 | 3 | 3 | 0 | 13 | 5 | 16.7 | 83.3 | 6 |
| | 芸術工学部・芸術工学科 | 56 | 173 | 151 | 56 | 3.09 | 21 | 35 | 0 | 96 | 33 | 41.1 | 58.9 | 56 |
| | 環境設計コース | 7 | 20 | 20 | 7 | 2.86 | 3 | 4 | 0 | 11 | 5 | 28.6 | 71.4 | 7 |
| | インダストリアルデザインコース | 16 | 43 | 43 | 16 | 2.69 | 5 | 11 | 0 | 28 | 14 | 12.5 | 87.5 | 16 |
| | 未来構想デザインコース | 8 | 19 | 15 | 8 | 2.38 | 2 | 6 | 0 | 14 | 4 | 50.0 | 50.0 | 8 |
| メディアデザインコース | 20 | 54 | 53 | 20 | 2.70 | 10 | 10 | 0 | 25 | 8 | 60.0 | 40.0 | 20 | |
| 音響設計コース | 5 | 37 | 20 | 5 | 7.40 | 1 | 4 | 0 | 18 | 2 | 60.0 | 40.0 | 5 | |
| 農学部 | 24 | 87 | 65 | 24 | 3.63 | 8 | 16 | 0 | 43 | 14 | 41.7 | 58.3 | 24 | |
| 推薦 | 共創学部 | 10 | 60 | 27 | 11 | 5.45 | 1 | 10 | 0 | 45 | 8 | 27.3 | 72.7 | 11 |
| | 歯学部 | 8 | 18 | 17 | 5 | 3.60 | 1 | 4 | 0 | 11 | 4 | 20.0 | 80.0 | 5 |
| | 芸術工学部・芸術工学科 | 10 | 44 | 35 | 10 | 4.40 | 2 | 8 | 0 | 30 | 8 | 20.0 | 80.0 | 10 |
| | インダストリアルデザインコース | 5 | 27 | 18 | 5 | 5.40 | 1 | 4 | 0 | 18 | 3 | 40.0 | 60.0 | 5 |
| 未来構想デザインコース | 5 | 17 | 17 | 5 | 3.40 | 1 | 4 | 0 | 12 | 5 | 0.0 | 100.0 | 5 | |
| 国際 | 教育学部 | 3 | 4 | 2 | 1 | 4.00 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 100.0 | 0.0 | 1 |
| | 全学部(総合+推薦+国際) | 291 | 879 | 646 | 242 | 3.63 | 94 | 147 | 1 | 498 | 149 | 38.4 | 61.6 | 242 |

※1 受験者数は、第2次選抜の受験者である

※2 倍率については、小数点以下第3位を四捨五入

※3 合格者の男女比については、小数点以下第2位を四捨五入

受験番号
(注1)

(令和6(2024)年度 九州大学共創学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書 (学校長用)

年 月 日

九州大学 総長 殿

学校名

学校長名



下記の者を責任もって推薦します。

記載責任者名

| 志望学部・学科 | 共創学部・共創学科 | | | |
|------------------|-----------|-----|------------------|---|
| 氏 名 | | 性別 | 高等学校等での 所属学科名 | 科 |
| | | 男・女 | | |
| 推 薦 理 由 | | | | |
| | | | | |

(注) 1 受験番号欄は記入しないでください。

(裏面に続く)

(表面から続く)

| | |
|------------------|--|
| 学 業 等 | |
| 人 物 | |
| 特 記 事 項 | |

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部に推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を
持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入
してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、今後の指導におい
て特に配慮を要するような点等特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入
力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

活動歴報告書

| | |
|-------|--|
| フリガナ | |
| 志願者氏名 | |

次の項目について、志願者自身が黒のペンまたはボールペンを用いて、**自筆**で記入してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

- ① 高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだ学習・研究活動（各教科での学習や総合的な学習の時間、読書、課外活動、学校行事での活動など）のうち、主なものを時間の経過に沿って記述してください。記入にあたって、活動ごとに「項目」欄に1から順に番号を振ってください。
- ② ①で述べた活動のうち、特に力を入れて行ったもの2つを取り上げ、それぞれについて(1)なぜその活動を行おうとしたのか、(2)活動の具体的内容（直面した課題に対する工夫など）、(3)得られた成果と意義について、記してください。
- ③ ①で述べた活動に関連する成果物（レポートや報告書、制作物など）、表彰、取得した資格、各種検定の成績などについて9件以内で列挙してください。
 - (a) 資格・成績についてはその最高の等級と得点を記載してください。
 - (b) ※①の活動は、高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだものとしていますが、その活動に関連する資格をそれ以前に取得している場合は、その資格については記載して構いません。（例：「英検準一級を中学3年生で取得」等）それぞれがどの活動に関連する成果物かわかるように、①の項目欄に振った番号を資料番号欄に記載してください。

※本ページは何も記載せずに、白紙のまま提出してください。

- ① 高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだ学習・研究活動（各教科での学習や総合的な学習の時間，読書，課外活動，学校行事での活動など）のうち，主なものを時間の経過に沿って記述してください。記入にあたって，活動ごとに項目欄に 1 から順に番号を振ってください。
- (a) 「項目」欄には活動ごとに時系列に沿って，1 から番号を振ってください。
- (b) 「時期」欄には活動を行った時期及び学年（西暦で〇年〇月・高校 1 年，〇年〇月～〇年〇月・高校 2～3 年など）を記入してください。
- (c) 「活動内容」欄には，活動の名称とその簡単な説明を書いてください。グループでの活動については，あなたが貢献した部分が明らかになるよう説明してください。

| 項目 | 時期 | 活動内容 |
|----|----|------|
| | | |

| 項目 | 時期 | 活動内容 |
|----|----|------|
| | | |

- ② ①で述べた活動のうち、特に力を入れて行ったもの2つを取り上げ、それぞれについて説明してください。
- (a) 「項目」欄に①の項目欄に振ったのと同じ番号を記入してください。
 - (b) 「名称」欄に活動の名称や種別を記してください。
 - (c) 「活動の程度」欄に、1回の活動時間、週当たりの日数、どれぐらいの期間継続して活動を行ったのかなどについて書いてください。
 - (d) 「背景」欄になぜその活動を行おうとしたのかを記入してください。
 - (e) 「活動内容」欄に活動の具体的内容（課題に直面した時にどのような工夫をしたのかなど）を記してください。
 - (f) 「成果・意義」欄には、活動から得られた成果と意義（活動から何を学んだのかなど）について記述してください。

- ③ ①で述べた活動に関連する成果物(レポートや報告書, 制作物など), 表彰, 取得した資格, 各種検定の成績などについて 9 件以内で列挙してください。
- (a) 「時期」欄には成果物を作成または提出した時期, 表彰を受けた時期, 資格・検定などを取得・受験した時期に加えて当時の学年も記載してください(例えば西暦で, 「〇年〇月・高校 1 年」)。
- (b) 「成果物・表彰・資格・検定など」欄には成果物の名称, 表彰の名称, 資格・検定の種別がわかるように記入してください。
- (c) それぞれがどの活動に関連する成果物かわかるように, ①の項目欄に振った番号を「項目」欄に記載してください。
- (d) 成果物や表彰, 資格, 検定などを証明する資料を添付してください。また資格・検定についてはその最高の等級と得点を記載し, 証明書のコピーを添えてください。添付する際には, 添付資料に関する注意事項をよく読み, その指示に従ってください。

| 時期 | 成果物・表彰・資格・検定など | 項目 |
|----|----------------|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

志望理由書

| | |
|-------|--|
| フリガナ | |
| 志願者氏名 | |

次の項目について、これまでの経験や将来展望等を踏まえ、志願者本人が自らの考えを基に**作成し、自筆で**記入してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

- 共創学部への入学を希望する理由を述べてください。(550字)
- 共創学部入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の指示に従い、具体的に記してください。また冒頭に、200字以内の要約を付けてください
 - その課題を着想するに至った背景（なぜその課題が重要だと考えたのか、過去の活動と関連させて記載すること。）(300字)
 - 課題にどのように取り組むのかについて、共創学部の特色と関連させた具体的な学習・研究内容 (500字)
 - 予想される成果と大学卒業後、その成果をどのように活用したいかについての抱負 (300字)

この学校推薦型選抜では、九州大学共創学部での学修を強く志望し、合格した場合は**必ず**入学することが求められています。あなたは明確な入学意思を持っていますか。ある場合には、下記に**自筆で**署名してください。(摩擦等で消えるボールペンは使用できません。)

私は、九州大学共創学部での学修を強く志望し、合格した場合には、必ず入学します。

年 月 日 署名

※本ページは何も記載せずに、白紙のまま提出してください。

共創学部「活動歴報告書」添付資料に関する注意事項

「活動歴報告書」の③で記載した活動の成果物、表彰、資格、検定などに関する資料を添付する際、下記の注意事項をよく読み、その指示に従ってください。

- (1) 各資料の右上に氏名と「活動歴報告書」の③の「項目」欄に記入した番号を必ず記載してください。
- (2) 資料は全体を通して 30 ページ以内（**全て A4 判片面印刷**）で用意してください。
- (3) 資料は番号順に並べて、右下に資料全体を通してのページ番号を記載し、まとめてダブルクリップで留めたいえ提出してください。（例：1つ目が5ページ、2つ目が4ページ、3つ目が5ページの資料を提出する場合には、最初のページから通しで1～14のページ番号が振られることになります。）
- (4) **資料は返却しません**。賞状や証明書、資格認定書、ノートなど、今後も必要なものを資料とする場合は、現物ではなく必ずコピーを提出してください。
- (5) 資料を準備する際には、次の点に留意してください。
 - 資料は、必ず A4 版 で作成し、片面印刷 としてください。（縦向き・横向きの資料が混在しても構いません。この場合には、横向き資料の上部が左側になるように縦置きにし、右上に氏名・項目番号、右下にページ番号を記載してください。）
 - 資料（特にパワーポイント等のプレゼンテーション用資料など）は、文字が読める大きさであれば、2 in1 や 4 in1 で印刷しても構いません。
 - 資料毎にクリップ留めやホッチキス留めはしないでください。また、インデックス等を付けることもしないでください。
 - 資料に付箋を貼り付けしないでください。
 - 本や雑誌などに記載された自分の文章や記事を資料とする場合には、表紙、目次、奥付など、記載された箇所と出典（書名、著者名、発行年月日、発行所など）がわかる部分と自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。
 - あなたを含む複数の人間による共同研究や団体活動の成果などを資料として添付する場合、あなたの担当箇所、役割・分担がわかるような説明を添えて、提出してください。
 - A4 判でコピーできない作品などを資料とする場合は、作品の実物ではなく写真と文書による説明（内容、作成年月日など）をつけて提出してください。写真は A4 判の白紙に張り付けてください。
 - プレゼンテーションやパフォーマンスなどを資料とする場合、当日の写真やプログラム、新聞記事、主催者や学校の先生が作成した証明書など、裏付けとなる資料とともに、プレゼンテーションやパフォーマンスの内容と行った年月日を記した文書を提出してください。

(6) 第2次選抜の面接では、資料について質問する場合があります。必ず、資料をコピーし、面接の当日に持参してください。

「活動歴報告書」に添付する資料の例としては、次のようなものが考えられます。ただし、これらに限定するものではありません。

- ・ 各教科で執筆したレポート、論文など
- ・ 総合的な学習の時間、課題研究、SSH・SGHなどで探究・研究した成果をまとめたレポート、ポスター、論文、パワーポイント（印刷したもの）など
- ・ 読書を踏まえた小論文、書評など
- ・ 自分が作成した作品（写真、映画、舞台演劇、芸術作品など）やそれに関する解説
- ・ 自分が執筆した小説、シナリオ、エッセイなど
- ・ 課外活動、学校行事・生徒会での活動、ボランティア活動、文化・芸術・スポーツ活動、留学・国際交流などで取り組んだ活動に関する記録（ノートなど）、あなたの活動について関係者から寄せられたメッセージなど
- ・ 雑誌や新聞に記載された記事など
- ・ 各教科にかかわる大会、コンテスト、コンクール、国際科学オリンピックなどの成績を証明するもの（表彰状のコピーなど）
例：教育委員会賞、総合文化祭優秀賞、高校生論文コンテスト、英語スピーチコンテスト、高校生ディベート大会、模擬国連、国際科学オリンピック、科学の甲子園、日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、ビジネスアイデアコンテスト、高校生映画コンクール、全国高等学校小倉百人一首かるた選手権、全国高等学校クイズ選手権など
- ・ 英検、TOEFL、TOEIC、そのほかの外国語の検定、能力試験
- ・ 各種の技能や知識などの検定や資格、段位
- ・ 国際バカロレア（資格証書、最終試験成績証明書）

※上記の指示に従っていない資料を提出した場合には、当該資料を審査対象としない場合がありますので、注意してください。

※提出後の資料等に関する問い合わせには一切応じません。この注意事項をよく読んで提出してください。